## 行動への呼びかけ

**性的同意に関する実態調査をもとに、生徒が互いを尊重し安心して学べる環境の構築を推進し、将来的には包括的性教育の学校教育への定着を求めます。**

### 教育機関（学校）への提言

**01 生徒・教員が双方向に学べる教育実践の導入**

- ロールプレイやディスカッション形式を活用し、実生活に即した性的同意に関する教育を実施すること
- 生徒が安心してオープンに話せる環境を整え、対話を促進すること

**02 専門家・外部講師の活用**

- 生徒に、性的同意について正しい知識を提供するため、専門家や外部講師を招いた授業を積極的に実施すること

**03 安全な相談窓口の設置**

- 教員が生徒の悩みに親身に対応できるよう、心理的支援やカウンセリング技術の研修を受ける機会を増やすこと
- 性に関する相談を気軽にできる専門のカウンセラーを学校に配置し、相談窓口の存在を生徒に周知すること

### 政府・教育委員会への提言

**01 包括的性教育の促進**

- 性的同意に関する内容も含まれる国際セクシュアリティ教育ガイダンス（UNESCO）を基にした包括的性教育を全国の教育現場で実践すること
- 包括的性教育の8つのキーコンセプトに基づき、就学前から高校まで繰り返し学べる教育カリキュラムを開発する
  また、その継続的な評価・改善を行う体制を構築すること

**02 教育予算の拡充と支援制度の強化**

- 性的同意に関する教育の充実に向けて、教材開発や研修のための予算を拡充すること
- 学校で、性的同意に関する学びや包括的性教育を実践するために、人的支援を強化すること

**03 教員研修の必須化**

- 教員やこれから教員を目指す人に向けた性的同意や包括的性教育に関する研修を義務化し、正しい知識と指導スキルを身につける機会を提供すること
- 研修内容には、専門家の監修を受けた教材を使用し、実践的な学びを提供すること



PLAN YOUTH GROUP
for Plan International

# 高校生1000人が回答 性的同意に関するアンケート結果

## ～性的同意を「知る・学ぶ・話せる」学校づくり～

プラン・ユースグループ
2025 年 3 月



「性的同意」について知らない・聞いたことがあるが説明はできないと答えた生徒の割合

**68%**

「性的同意」について学校で教えて欲しいと考える生徒の割合

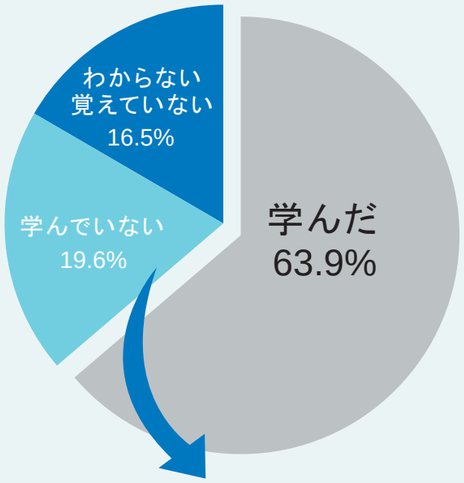
**78%**

プラン・ユースグループとは：

国際 NGO プラン・インターナショナルとともに、国内のジェンダー平等と女性の権利向上を目標に 15 歳から 24 歳のユースで活動しています。政策提言やイベント開催、SNS での発信を通して国内のジェンダー課題を同世代のユースに伝え、共感を増やしていく活動を行っています。

## 性的同意についての理解

**Q.** 性的同意について**学校**で学ぶ機会はありましたか？




学んでいない・分からない／覚えていない

**計36%**

| 以下のことを学校で学ぶ機会はありましたか？ | 学んでいない覚えていない |
|---|---|
| 二次被害（セカンドレイプ）＊を起こさない方法 | 74% |
| 性暴力被害にあった／周囲の人が性暴力を受けていることを知った場合の対処法 | 60% |
| より良い人間関係の築き方（心の距離、からだの距離） | 30% |



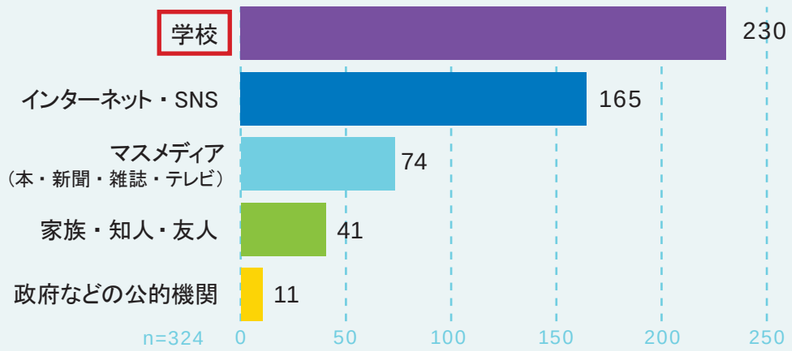
たとえ学校で性的同意を学んでいたとしても、完全に理解できていない人は **68%** もいるんだね！
（表紙参照）

＊二次被害（セカンドレイプ）とは、性暴力被害を訴えたことについて、「被害を受けたのは、あなたにも問題があったからでは？」「なんで今更いうの？」「大したことじゃないよ」など、誹謗中傷や被害者を責める発言を投げかけることを指します。これによって、「被害のショックで何もやる気が起きない」「誤解や偏見に満ちた言葉で傷ついた」「外出したくなくなった」「人と関わりたくない」など、さまざまな心の影響が残ることもあります。

参考：https://pilcon.org/help-line/sexualviolence

## 学校教育の重要性

**Q.**「性的同意」について「知っていて、説明もできる」と答えた方に聞きます。どこで知りましたか？（複数回答）




インターネット・SNSよりも学校の方が多い！

**学校**
**が主な情報源**



**Q.**「性的同意」を**学校**で「教えてほしい」「どちらかといえば教えてほしい」と答えた方（表紙参照）に聞きます。その理由は何ですか？（複数回答）n=783

1. 正しい知識を身につけたいから（84%）
2. 自分や他者を大切にしたいから（45%）
3. 周りの人とも性的同意について話し合えるきっかけになるから（23%）
4. 学校で学ぶことで安心して話しやすくなるから（21%）



## 相談先の現状

### 知る・学ぶだけでなく、**相談**もできる環境整備を

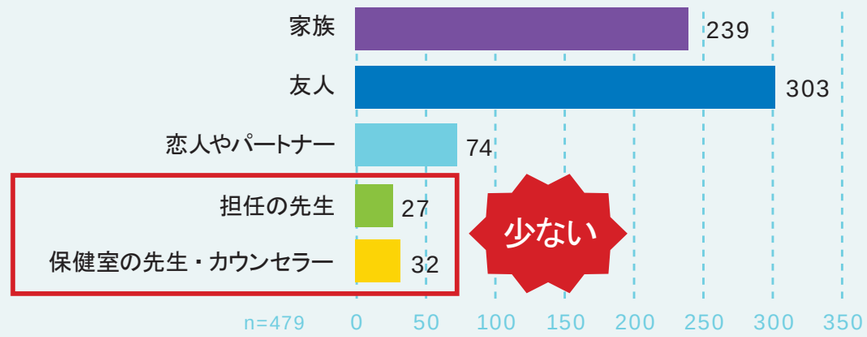
性に関することについて相談できる人がいない **52%**

理由



- 「性的な話題を話すことが恥ずかしいから」
- 「誰に相談していいかわからないから」
- 「性的な話題を話すことに不安を感じるから」

**Q.**「性に関することを相談できるのは誰ですか？（複数回答）




**学校**現場での相談先が**不十分**



## 生徒が学校に望むこと

**Q.**「性的同意」を学ぶ上で、学校に求めることは何ですか？（複数回答）n=783

| | |
|---|---|
| 01 | 学校の先生が、「性的同意」について正しい知識を持っていること（64%） |
| 02 | 学校に、性に関する相談が気軽にできるカウンセラーがいること（29%） |
| 03 | 「性的同意」に関する授業内容を充実させること（27%） |
| 04 | 学校の先生が、親身に相談に乗ってくれること（27%） |
| 05 | 専門機関や団体から講師を招いて、話を聞く機会を設けること（22%） |

＜調査概要＞
対象者：日本在住の 15-18 歳の高校生 1000 人（女性 771 人、男性 229 人）
方法：Freeasy を利用したアンケート調査
質問項目：設問 12 問
調査期間：2024 年 12 月 02 日 ～ 2024 年 12 月 10 日